

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(令和2年度第1回)議事概要

開催日時及び場所	令和2年6月29日(月)15時00分～17時00分 沖縄総合事務局6階 特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当山尚幸(委員長:弁護士) ・酒井一人(琉球大学農学部教授) ・崎山律子(フリージャーナリスト) ・宮城千春(公認会計士) 	
審議対象期間	令和元年10月1日 ～ 令和2年3月31日	
項目	抽出案件	備考
総件数	33 件	
工事	6	
① 一般競争入札方式(政府調達)	1	
② 一般競争入札方式	5	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	6	
① 一般競争入札方式	3	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	2	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	0	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	1	
役務の提供等及び物品の製造等	21	
① 一般競争入札方式	20	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	0	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑤ 随意契約	1	
議事		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 指名停止等の運用状況について 2. 令和元年10月～令和2年3月における公共工事等の発注状況について 3. 抽出事案の審議について 		
委員の意見・質問等	回答	
<p>1. 工事</p> <p>○ 宮古伊良部農業水利事業仲原地下ダム(右岸端部)建設工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札(総合評価落札方式) ・ 業種区分 農林土木工事 競争参加資格 ・ を確認した者の数 14者 ・ 入札者数 14者 ・ 契約締結日 令和1年11月29日 ・ 契約の相手方 大成・丸石宮古伊良部農業水利事業仲原地下ダム(右岸端部)建設工事共同企業体 ・ 契約金額 1,184,315千円 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査基準価格に近い金額で応札した者が多くいるが、その理由は。 ・ 調査基準価格以下で応札し、入札を辞退した者が5者いるが、その理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積算に必要な歩掛りは公表されている。また、市販されている積算用のシステムは、官制と同じ積算方法を用いていることから、各業者の応札額は、調査基準価格に近い金額での応札が多くなる。 ・ 前述のとおり、歩掛りを公表しているため、落札しようと思えば、調査基準価格に非常に近い金額で応札することになる。落札したい気持ちが金額的に頑張り過ぎて調査基準価格を下回ることもある。 	

委員の意見・質問等	回答
<p>2. 設計コンサルタント業務等</p> <p>○ 令和元年度 石垣島農業水利事業 太陽光発電施設総合試運転調整業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 随意契約 ・ 業種区分 施設機械電気通信 ・ 契約締結日 令和1年12月10日 ・ 契約の相手方 株式会社 明電舎 九州支店 沖縄営業所 ・ 契約金額 3,520千円 <p>・ 入札ではなく随意契約としている理由は。</p> <p>・ システム導入時は、入札したのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務は、導入済みの太陽光発電システムについて、動作確認等の試験・調整を行うものである。当該システムにはメーカー独自の特殊システムが用いられているため、他のメーカーが本業務を実施することは適切ではないと思われる。 ・ システム導入時は、入札により業者を決定している。
委員の意見・質問等	回答
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 令和元年度沖縄における不発弾探査の効率化に関する検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札(総合評価落札方式) ・ 業種区分 役務の提供 <p>競争参加資格 ・ を確認した者の数 1者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札者数 1者 ・ 契約締結日 令和1年10月8日 ・ 契約の相手方 大和探査技術株式会社沖縄営業所 ・ 契約金額 16,918千円 <p>・ 入札者が1者となっている理由は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ この事業は、数年間、継続して実施されている事業で、前年度の成果を利用するため、他者が入りづらい面がある。これまでの成果物の内容をよく確認すれば、新規参入も可能であるが、難しいようである。
委員の意見・質問等	回答
<p>4. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 令和元年度地域経済産業活性化対策調査(沖縄県内における産業用地の状況調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 随意契約(不落随契) ・ 業種区分 役務の提供 ・ 契約締結日 令和1年12月12日 ・ 契約の相手方 株式会社ゼンリンインターマップ ・ 契約金額 3,190千円 <p>・ 当初の入札で14者が資料を受け取ったにも関わらず、1者も応札しなかった理由は。</p> <p>・ 再度公告を行ったことで、業務の履行期間が短くなったと思うが問題はなかったのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を受け取った業者に確認したところ、業務内容のうち、ヒアリングを実施するための人手の確保が難しいとのことだった。 ・ ヒアリング先を企業誘致に積極的な自治体に絞って実施したり、報告書を印刷物ではなくデータ納品とするなどして、履行期間が短くなっても支障が出ないよう対応した。

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(令和2年度第2回)議事概要

開催日時及び場所	令和2年12月7日(月)15時00分～17時00分 沖縄総合事務局6階 特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当山尚幸(委員長:弁護士) ・酒井一人(琉球大学農学部教授) ・崎山律子(フリージャーナリスト) ・名嘉座 元一(沖縄国際大学経済学部教授) ・宮城千春(公認会計士) 	
審議対象期間	令和2年4月1日 ～ 令和2年9月30日	
項目	抽出案件	備考
総件数	183 件	
工事	25	
① 一般競争入札方式(政府調達)	0	
② 一般競争入札方式	25	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	58	
① 一般競争入札方式	31	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	1	
④ 指名競争入札	21	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	5	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	0	
役務の提供等及び物品の製造等	100	
① 一般競争入札方式	62	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	15	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑤ 随意契約	23	
<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指名停止等の運用状況について 2. 令和2年4月～令和2年9月における公共工事等の発注状況について 3. 抽出事案の審議について 		
委員の意見・質問等	回答	
<p>1. 工事</p> <p>○ 令和2年度合同宿舍各所修繕工事(建築工事B地区単価契約)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札(最低価格落札方式) ・ 業種区分 建築工事 競争参加資格 ・ を確認した者 2者の数 ・ 入札者数 1者 ・ 契約締結日 令和2年4月1日 ・ 契約の相手方 大宝建設株式会社 ・ 契約金額 単価契約(応急復旧5,142円/2時間他) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落札率が低いとその要因は。 ・ (更問)下請料金程度の受注額では、この工事を下請業者に依頼することが難しくならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件受注業者は、沖縄県発注の県営住宅の同種業務を受注した業者の下請業者として施工しており、その下請料金と同等の価格で入札したとのこと。本件が初めての国発注事業の受注となり、国事業の施工実績を積み込むことで、事業の拡大を図れることから、確実に落札できるよう低めの価格で応札したとのこと。 ・ 下請けには出さず、受注業者が全て施工するとのこと。 	

委員の意見・質問等	回答
<p>2. 工事 ○ 令和2年度石垣島農業水利事業二又送水路他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札(総合評価落札方式「標準B型」) ・ 業種区分 農林土木工事 競争参加資格 ・ を確認した者 6者の数 ・ 入札者数 4者 ・ 契約締結日 令和2年4月3日 ・ 契約の相手方 株式会社鴻池組 ・ 契約金額 306,625千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 31者が資料を受領しているのに、4者しか入札していないのはなぜか。 ・ 競争参加申請書を提出した8者のうち、県内企業は何者か。また、競争参加資格無しとされた2者は、なぜ資格無しとされたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設業は人手が不足しており、当局の発注時期に、本業務に適した技術者を配置できるかなど、受注条件を整えることが難しいようだ。 ・ 8者中5者が県内企業である。競争参加資格を無しとされた2者は、同種工事の施工実績が確認できなかったこと等が理由である。
<p>3. 設計コンサルタント業務等 ○ 令和2年度資材価格実態調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札(総合評価落札方式) ・ 業種区分 農業土木コンサルタント ・ 契約締結日 令和2年4月6日 ・ 契約の相手方 一般財団法人 建設物価調査会 ・ 契約金額 32,428千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札となっているが、本業務に対応できる他の業者はいないのか。 ・ 応札者が少ない理由として新型コロナの影響もあると考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去、別の業者が受注していることから、対応できる業者は複数いる。当該業者に入札に参加しなかった理由をヒアリングしたところ、人を配置できないためとのことだった。 ・ よくわからないが、本土勤務の技術者が沖縄に応援に行きづらいということは、あるかもしれない。
<p>4. 設計コンサルタント業務等 ○ 令和2年度計画基礎諸元調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 簡易公募型競争入札 ・ 業種区分 農業土木コンサルタント ・ 契約締結日 令和2年8月17日 ・ 契約の相手方 沖縄NTC株式会社 ・ 契約金額 1,980千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札説明資料は5者が受領しているのに、2者しか入札していないのは、専門性の高い業務だからか。 ・ (他の案件も含め)技術者不足により、入札に参加できない業者が多いようだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札に参加しなかった業者に確認したところ、技術者の配置が難しかったとのことだった。 ・ 一般論として、農業土木の業界全体が人手不足となっている。当局でも希望人数を採用できない状況。業者も人を増やしたくても増やせない状況と思われる。

委員の意見・質問等	回答
<p>5. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 令和2年度沖縄総合事務局行政情報ネットワークシステムにおけるプロジェクト・マネジメント・オフィス(PJMO)支援業務</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 一般競争入札(最低価格落札方式) ・ 業種区分 役務の提供 競争参加資格 ・ を確認した者の数 1者 ・ 入札者数 1者 ・ 契約締結日 令和2年4月1日 ・ 契約の相手方 T&C株式会社 ・ 契約金額 84,480千円 </div> <p>・ このようなシステム関連の業務は、他の省庁も同様の業務を発注しているのか。</p>	<p>・ 大枠としては、同じ政府方針に沿って各省庁がデジタル化を進めているため、類似の業務はあるかもしれない。</p>
委員の意見・質問等	回答
<p>6. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 令和2年度沖縄総合事務局行政情報システム運用管理業務</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 随意契約(不落随契) ・ 業種区分 役務の提供 ・ 契約締結日 令和2年4月1日 ・ 契約の相手方 株式会社オーシーシー ・ 契約金額 406,115,600円 </div> <p>・ 上記業務(PJMO支援業務)と関連している業務だと思いが、それぞれ別の業者が受注しても業務上支障ないのか。</p> <p>・ 入札説明資料は12者が受領しているが、1者応募となっているのはなぜか。</p>	<p>・ PJMO支援業務は、業務内容が非常に高度なためレベルの高い技術者を必要としているが、本業務は、そこまで高い技術力を必要としないことから、違う業者(技術者)でも問題ない。</p> <p>・ 入札に参加しなかった業者に確認したところ、発注先に常駐させる技術者の数が多く、社内体制として対応が難しかったとのこと。</p>